

学校再編計画（案）説明会 会議録

【日 時】

令和4年8月22日（月）午後7時30分～午後9時

【場 所】

村岡老人福祉センター 大集会室

【参加者】45名

内訳	保護者	10名
	一般	25名
	村岡区外	2名
	学校関係	5名
	教委職員	2名
	報道機関	1名

【出席者】

町 長 浜上 勇人

副町長 今井 雄治

教育長 前田 毅

事務局 教育総務課長 清水 幸信

こども教育課長 丹後谷 智

教育総務課副課長 山田 貴広

こども教育課副課長 井上 修三

1 開会

（教育総務課長）

予定の時刻になりましたので、ただ今から学校再編計画（案）の説明会を開催させていただきます。

2 あいさつ

（町長）

お盆も過ぎましてから、朝夕は少し凌ぎやすいようになってまいりました。一方で、コロナの感染拡大がピークを迎えており、連日、二けたの患者が香住病

院の発熱外来で確認をされ、毎週最多を更新しているような状況でございます。

しっかりと感染拡大防止には努めているところですが、役場の職員も、濃厚接触者、あるいは本人が陽性になりますと、2週間程度休みをいただかなければならないということで、まさに役場の仕事も麻痺寸前というところでございます。

去る7月26日に、昨年から小学校区ごとに懇談会を開催させていただきながら取りまとめた学校再編計画をお示しさせていただきました。

まず、第1弾として令和6年度に佐津小学校、奥佐津小学校と香住小学校、第2弾として柴山と長井、余部小学校を令和8年度に香住小学校と統合すること、それから、村岡の三つの小学校を令和10年に統合させていただくという案をまとめさせていただいたところでございます。

このことをそれぞれの地域でご説明をさせていただき、お集まりの皆様からご意見を頂戴したいと思っております。

どうぞ忌憚のないご意見を述べていただきますようお願いを申し上げまして、開会のご挨拶にかえたいと思います。

3 資料説明

(教育総務課長)

- ・学校再編計画(案)について資料に基づき説明

4 質疑応答

【保護者】

5年後ってというのは、僕は遅すぎると思います。子供の成長は早く、小学校に関しては6年しかない、今の子らは卒業してしまいます。なぜ、香美町全体で考えないのか理解できない。校区はなしにしてもいいのではないか。

僕の住んでいる下射添は、香住の方へ行けるように検討していただきたい。

(町長)

学校再編に関する懇談会で、学校は存続してほしいという意見もたくさんいただきました。特に村岡区は、3区の中でも一番学校統合については段階的に、あるいは存続してほしいという意見が多くありました。

町全体として小学校の再編を考えたときに、一気に全部というのは無理があるということで、3段階での計画を作りました。小学校6年しかない間で、今から何年後かになると、今小学校に通っている児童は、統合を待たずして卒業する子

も出てこようかと思いますが、それは統合に臨むにあたっては、どうしようもないと思います。

もう一つ理由として、現在、たくさんおられる先生方の処遇というものもございます。今計画している統合では先生方が半分近くになります。他の町も統合を進めている中で引き取っていただける地域ありません。ですから、定年されていく先生のお力もお借りしながら、段階を追って勤務の場所を確保しなければならない。仮に香美町がいっぺんに統合を進めるというようなことになると、そういう部分で非常に難しい面もございます。

学校への距離ということですが、今後検討をしていかなければならないのですが、そのことについては、やはり旧町単位を基本にすべきと思います。ただ、距離的なことで申しますと、下射添の方とかは、仮に村岡小学校に統合するようなことになると、距離的には香住の方が少し近いかもしれません。そのことについては、今後、検討委員会で検討していただきますが、距離で決めるのか、やはり旧町単位で決めて、旧村岡町の地域の皆さんは村岡小学校に通っていただくようにするのかを検討していただきたく思っておりますので、今のご意見を受けまして順次進めていきたいという思いがございます。

いっぺんに10校の小学校を統合することは、これは物理的にも無理だと考えています。

【保護者】

この計画では、統合の時にはうちの子は小学校を卒業し中学生になっています。射添小で卒業できてほっとする面と大勢の環境で学ぶ貴重な期間がなくなるという思いがあります。資料を見まして、令和6年に兎塚小学校で新入生が1人という年があります。射添小学校では令和7年度2人、令和9年の0人は問題ないと思いますが、1人の保護者の方の思いとか、このあたりのヒアリングはしっかりやったのでしょうか。

また、今日お集まりの方は、どちらかというとな保護者の方が少ない、周知が足りないのではと思います。再編については、今の保護者というよりもこれから保育園に入れようかっていう方こそ、しっかりと意見をいただきたいなと思うのですが、そういう方々の声をしっかりと拾い上げていただけるような環境を作りたい。

検討委員会が設置されるということなのですが、統合校の位置、これは未定ということでもよろしいでしょうか？先ほど距離の話ができましたが、地図上で言えば境から山田を經由して射添小学校まで15キロです。これが村岡までとなると23キロです。兎塚から射添小学校ということになると15.5キロです。このあたりを頭に入れて子供たちの負担ができるだけ平等になるようにしていただきたいと思います。

(町長)

今のご意見は、それぞれ検討委員会で検討させていただきますけど、学校がどこになっても通学の負担が平等にとはいきません。

統合後の学校は、今後検討委員会でいろいろ検討していただきますが、私は一般的に村岡小学校になると思っています。校舎が古いとか新しいとかそういうこともあります。普通に考えれば村岡小学校になると私は思います。ただ、議論は検討委員会でやりますから、そういうことなども検討させていただくということです。

(教育長)

2人の方の質問に対して共通の答になるかもしれませんが、現在、村岡の三つの小学校で144人、それぞれの家庭、子供も全て平等にというのは無理があると思います。ですので、ベストというよりも、ベターで考えていただかないと、1人1人、全てに納得してもらえらるものを作るっていうことは、今の状況では難しい。

統合の時期に関しましても、平等とするなら来年一斉に統合しなきゃいけないことになるわけです。ですので、個別の事情それぞれに対応はできないと考えます。校区に関しましても、ある程度意見を聞きながら調整できるところはしていこうというスタンスです。ただ、これに関して、100%要望に応えることはできませんし、いろんなことにおいてできるだけことはしようと、距離の長短は生まれると思いますが、譲り合ってベターな方向に進めていこうとしているので、最後の詰めを検討委員会でと考えていますので、その辺りを理解してください。

また、それぞれの家庭の事情に関しては小学校を通じて相談をしていただければと考えています。

【一般】

検討委員会で検討するということですが、このスケジュール表では令和7年から検討するということなのか。それと検討委員会のメンバーとか、定期的に関われるのか教えていただきたい。

(教育総務課長)

まず、今回の学校再編計画案では統合の組み合わせと目標時期をお示しさせていただきますが、実際に何年に統合するのかとか、あるいはその方式というものもあります。市町村合併と同様に対等合併か吸収合併か、学校の統合も同じように方式というのがありますし、統合後、どの校舎を使うのか、校名、校歌や校章をどうするのか、そういったものを検討委員会で話し合っていくわけなのですが、10年度というのを目標にしておりますので、最低3年ぐらい検討する期間が必要ではないかということで、遅くとも7年度当初には委員会を立ち上げたいという予定にしているところです。

メンバー構成は、保護者の代表、区長会の代表、校長、それぞれ3地区かける3名といったところですが、先に立ち上げる香住区の委員会を進める中でやっぱりこういう方もメンバーにいた方がいいというようなことがあれば、加えていくことも考えられるかと思えます。

【一般】

懇談会の時の将来推計と計画書の数字が変わっているところがあるが、先ほど言われた移住者があったとかということなのか。

(教育総務課長)

懇談会資料は令和4年4月現在の数字で、今回、計画書に用いた数字は5月1日現在のもので、この春に転校があったなどを反映した最新のものになります。

(教育長)

すいません先ほど少し言わなかったことがあったので言わせてください。先ほど南垣さんの方から、クラスに1人という話がありましたが、これまで検討してきた中で、二点、頭にこびりついていることがあって、一つは、地域の中に学校があるということは、統合によってふるさと教育を進めるうえで地域の灯が消えるってことを言われたことがありました。では、統廃合したときそれをどう補っていかうかということ、もう一つは、香美町は平成25年からチャレンジプランに取り組み、90%を超える保護者から、その成果を評価してもらって

います。

人数が急激に減ってきたこともありますが、社会性っていう言葉を盛んに懇談会の会場で聞いてきて、社会性は何人だったら養えるのだろうと考えた時に、学年1人で社会性というのは難しいだろう。相手は先生ということになる。しかし、複式学級を繋いでいけば、少なくとも1人は解消できるが、やがてその複式も、一桁の前半の時期が先に見えてきて、社会性に重点を置くのであれば、数でいえば20人ぐらいが妥当じゃないかとするのが、今回の一番大きな判断材料だということ、1人の学年は複式を編制することによってしばらくは乗り切って統合に向かいたいと考えている。

この判断は、決してチャレンジプランが失敗だったから統廃合に切り替えたのではないことをご理解いただきたいし、今、各小学校の職員たちは、チャレンジプランと複式学級に関する教育を頑張っている進めていますので、それをそのまま継続していきたい。統合後もチャレンジや複式教育で得たノウハウを生かしていきたい。

【保護者】

今、来ておられる方が、統合になるときに保護者になる方がほとんどいないというのが残念だなと思っています。そういったなかで、通学の負担っていうのがすごく増えてくると思っています。放課後児童クラブがどうなるかでも負担になってくるんじゃないかと思います。今後、検討委員会を設置するという事で、PTAの代表とかが入ってくるのですが、それまでに今の保育園の保護者などの意見を聞いていただける場というか、そういった場を来年からでも設置していただきたいと思います。

(町長)

今日の会場に保護者が少ないと言われますが、こちらとしては周知もしていますし、逆に関心が低いととらえてしまいます。今日、集まっていないから改めて別の機会を設けるといったことはできません。他の地域では、結構現役の子供さんを持つお母さん方もたくさん来られてご意見をいただきました。何度も何度もこのような機会を設けることはできません。

放課後児童クラブの問題にしても検討委員会で議論する場がありますから、それぞれの学校やPTAが意見聴取する場を設けて委員会に臨んでいただきたい。

【保護者】

今日来ていないっていうのを否定するのではなくて、これから検討委員会を設置するにあたり、その中で様々な保護者の意見を取り入れてほしいという要望です。まだ時間ありますので、どの段階でもいいので保護者の意見というのを聞いてほしいということでもありますので、ぜひよろしくお願ひしたい。

(教育長)

検討委員会にはPTAや校長が入りますが、それぞれ個人の意見を言っていたくものでなく、PTAは会員を集めて意見集約したうえで代表として委員会に臨むことになるんだろうと思いますので、そういった場合はそれぞれの組織で設定していただきたい。

【保護者】

以前、保育園が統合することが決まって、説明会のときに、この先子供が減っていくのは明らかで、小学校や幼稚園の統合も考えていかないといけないという話があり、保護者が署名を集めて、早期の合併を要望したことがあったのですが、それは今回に何らかの影響があったのでしょうか？

3ページのアンケート結果は、保護者と一般の方の意見が一緒になっていますが、保護者の中で合併してほしいという意見と、子供がいない家庭との意見に差はなかったのかどうか。村岡では子供のいる家庭が少ないので、このような数字で判断されると、これから幼稚園や小学校に入っていく子どもをお持ちの人の意見が反映されないのではないかと思います。

もちろん地域あつての学校なので、親の意見だけが優先されるというふうには思っていないんですが、地域のご意見と実際に子供がいる世帯の意見とは差がなかったのかどうか。

(教育総務課長)

今日の資料につけさせていただいているのは、学校再編計画書の一部です。全編の計画書には年代別に集計したものであるとか、幼稚園の保護者、小学校の保護者、中学校の保護者に区分した結果というのもあります。今日の資料にはこれしかつけていませんが、他のデータや懇談会でいろいろと伺った意見をすべて勘案して、統合の組み合わせと目標時期というものを設定させていただいたということです。現段階で、一応参考とする数字というのがありますけれども、2年

前のアンケートですので、これから令和10年に向けて保護者の意見を聞いていく必要はあると思っています。

【保護者】

そのデータは、どこかで見ることができるのでしょうか。

(教育総務課長)

ホームページで見ていただくことができます。

(町長)

先ほど詳しくは説明しておりませんが、小学校の統合と合わせて、幼稚園や保育所、保育園の今後のあり方も併せて検討していきます。特に村岡区では町の都合で、三つのあった保育園を一緒にさせていただいております。一方、小代区では公立の認定こども園ということで、5歳児まで保育をさせていただいているのですが、このことについては、香美町は就学前の幼稚園とか保育所のあり方が地域によってバラバラで、そのことも併せて将来的に皆さんとも相談させていただいたり、検討委員会で検討していただかなければならないと思っております。

将来的には村岡区の学校再編と同時に、できれば私がイメージしておりますのは、私立公立は別としても、認定こども園、特に幼保連携型の認定こども園とし、就学前の環境が町内どこも同じ環境となることをイメージしております。

【保護者】

チャレンジプランのことについて、もちろん統合までやられると思いますけれども、やはり少ない児童数ですので、この機会を増やしていただきたい。

本日の資料見ますと、統合したとて10数名の小さな学校になります。できれば香住小学校などとの交流も作っていただけたらと思います。

(教育長)

既に今後を想定したチャレンジプランの検討は進めています。

今日は村岡区の全ての校長、教頭がここにおいて話を聞いておりますので、今日の意見を聞いて帰って今後の協議の参考にしていくと思っております。

【保護者】

統合したとき、兎塚からはスクールバスがでるのかなと思いますが、ふれあいが村岡だけになると、兎塚の親は送迎の負担が増えますので、スクールバスで帰ってから利用できるふれあいを兎塚にも考えてほしいと思います。

あとは、教育の質の低下を心配します。今、小規模でみんなの前でプレゼンする機会があったりというのを継続して行ってほしい。また、親教育をもっと高めてほしい。

(町長)

学校が統合したら放課後児童クラブが遠くなるということに関しましては、今後、検討委員会で検討していきますが、放課後児童クラブの送迎は基本的に保護者ですから、学校の先生方をお願いするわけにもいきませんし、別途人が必要になったりしますので、そこら辺も含めて検討していきたいと考えています。

統合したら保護者の様々な負担増を町で受けますということ、今この場で私は言えませんが、できるだけ保護者の負担が軽減できるように考えていきますが、統合にあたっては皆さんにもある程度の負担をお願いすることになることをご理解いただきたい。

なお、検討委員会は、統合に向けた様々な課題について検討し結論を出していただく委員会ですので、地域や保護者の代表が集まって町に対して要望をする場ではないことを認識しておいていただきたい。

(教育長)

教育方針に関しては、それは教師の宿命とっております。文科省が言っている35人学級や30人学級、5人の学級も含めて教育を考えていくのがこれからの使命だと思っておりますので、質が低下しないよう頑張るといふ努力を続けたいというふうに思っています。

【一般】

小学校の再編のスケジュールが決まってありがたいなと思っておりますが、村岡区が令和10年度統合というのがあまりにも遅いと思う。

このスケジュール表を見ますと、香住区の検討委員会は令和5年度で終わる。あと1年は何もせずに7年度から村岡区の検討委員会がスタートする。もっと縮めてもらわないと、兎塚で1人のクラスが5年生まで続くことになる。先生方の配置のこともあるんでしょうけれども、香住の第1次再編が6年度、それに遅れること4年村岡区は待たなければならないのが何とかならないのか。香住小の一次はこの10月から1年半後ぐらいでスタートできる。それに対して村岡区は令和10年まで待てというのはちょっとひどいなと思うんですけど、絶対に縮める

ことはできないんですか。

(町長)

どの町も、それくらいのスケジュールで進めてきており、丹波市は10年かけて学校統合ができたと言われている市長さんが言われていました。

学校統合に対する考え方については、村岡区の3つの小学校区は、圧倒的に残してほしいという意見が一番多い状況です。しかし、村岡区は統合希望の意見が少ないから統合しないということでは、役場としてもあまりにも無責任ですから、今後の香美町内の小学校のあり方を考える中で統合させていただくことにしました。

先日の香住の説明会で、柴山、長井、余部はなぜ第2段階なのかという意見がありました。やはりそれも、今の保護者や地域の皆様の統合を望む意見が、佐津、奥佐津は非常に高い、しかし、余部小学校なんかは今までの教育スタイルというものが県下でも注目され視察も多かったです。長井や柴山でも学校統合については、残してほしい意見も相当数あるということで、まず香住の第1段階は佐津、奥佐津、第2段階で柴山、長井、余部という計画にしました。

先ほどのアンケートの結果を見ましても、相対的に村岡区は学校を残してほしいという意見の方が多いような状況の中、村岡だけ統合しないわけにもいかないので、町内で統一的な教育環境を目指す中で、段階的な三つに分けた統合をお願いしているわけでございます。

香住区の統合、私の方からは1年でも早くできないのかと、村岡についても言いましたが、実務上、香住の第1弾の統合でも非常にタイトな状況になります。3つの学校を一つにするのを、今年も半分過ぎてしまいましたから、あと1年半で本当にできるのかというのが私の今の感覚です。特に、香住の中学校を統合するのに無理をして1年で統合したことにつきましては、先日の説明会でも、非常に慌ただしすぎたのご意見もいただいております。

そういったことを考えれば、第1段階であと1年半、非常に厳しいスケジュールだと思いますけど、第2段階の2年後、最終的に村岡区の三つの小学校を統合するのを令和10年、それに合わせて就学前の認定こども園化、現行の現場の皆様方との意見調整、あるいは検討課題も多くある。

例えば認定こども園化しようと思ったら、三つある幼稚園がなくなるわけです

から、今何人もの幼稚園の先生が町職員として働いておりますから、幼稚園がなくなつたからやめてくださいという訳にもいきませんでしょう。

そういうやりとりだけでも結構時間がかかると思います。村岡区の皆さんは遅すぎるというご意見もあろうかと思いますが、町内小学校の再編にはそのぐらいのスケジュールが必要ということをご理解いただきたい。

【一般】

理解しないといけないのですが、小学校のアンケートというのは、学校版教育環境会議で校長先生がこの学校は素晴らしい教育をしているというプレゼンをした後で、さあ統合について賛成ですか、反対ですかと聞かれると反対とは言いにくいので、このアンケート結果は本当の数字とはかけ離れていると思っている。

(教育総務課長)

すいません。このアンケートっていうのは、今おっしゃった学校版教育会議のものとは全然違うもので、そのやり方はやめました。今回のデータは別に行ったアンケート結果ですので、そのところを誤解しないでいただきたいと思います。

(教育長)

あなたの感覚では遅い、我々としてはこれをみてギリギリじゃないかと感じているところであります。さっき、他市町の事を言われましたけど、やはり半分ぐらいの学校数にしようとする、最低でも10年は時間が必要です。何故かっていうと、間をあけて様子を見ながらソフトランディングしていかないと現場が混乱してしまいます。

これに関しては、かなり時間をかけて町長とやりとりする中で、もっと早くできるだろう、いやもうこれが限界ですといったやり取りをしてきた結果です。

あくまでも目標ですので、ラストのところぐらいはなんとかかなるだろうと思われるかもしれませんが難しいです。

(町長)

先生方には、何の責任もありません。今までの懇談会でも申しましたけど、学校統合になってもクラスが増えるわけではありませんし、3人ずつの校長、教頭は1人になるわけですし、保健の先生も1人になります。

懇談会でも申しましたけど、大体55%になるんです。香住と村岡の小学校が統合すると、正規の先生だけです。それにSAや用務員、そういう方々もい

る状況のなか、特に正規の先生方の処遇については、少し時間をいただかねばなりません。

一遍に統合して、行き場のない先生をたくさん作るわけにはいきません。そういうところも全体的に検討すると、どうしても今のスケジュールが必要なんじゃないかと思っております。

【保護者】

先ほどから先生のためを思っているように思うんですが、子どものことが一番ですよ。もちろんそう思って話を聞いたのですが。

(町長)

そういう現実的な議論が必要になるということで、当然、子供たちのことが一番です。ただ、先生のことでのこのような一面があるということもご理解いただきたい。

5 その他

(教育総務課長)

たくさんご意見いただきましたが、今日皆さんにご確認いただきたいと思いますのは、計画で示させていただきました学校再編の組み合わせと目標の時期ですね。これを計画案として示させていただきました。

今後、通学はどうなるのかとか、統合後の学校はどこを使うのかとか、学校名とか、放課後児童クラブのことなどは検討委員会で協議し決定していただくわけですけれども、今回説明させていただいておりますスケジュールで町としては進めさせていただきたいなと思っておりますが、ご理解いただけますでしょうか？

いろいろと意見もおおろうかと思いますが、とにかくこの計画に基づいて前に進めさせていただきたいと思っておりますのでご理解をお願いします。

6 閉会

(副町長)

今年の8月から香住区全小学校区の中で懇談会を持たせていただきました。

この懇談会でのご意見とアンケート等々をもとに、先般7月26日の総合教育

会議の中で提案されたもの、本日はその提案の説明ということでさせていただきました。

大きな変革の時期にきております。村岡区につきましても、少しまだ時間もあると言いながら、子供たちの将来のため計画を推進していくことを真剣に丁寧に進めていきたいと思っております。また、いろいろとご意見を伺う機会もあろうかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは本日はこれをもちまして、説明会を終了させていただきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございました。